



有限会社エコ・ライズ新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL: 0258-66-0070 FAX: 0258-66-0447

クイーン倶楽部だより 8月号



稲は元気に生長中！

圃場巡回を行いました

7月中旬、圃場巡回を行いました。

圃場巡回は、お米の生育状況や雑草の発生状況、害虫・病気発生などをチェックするため毎年行っています。

この時期、葉が65cm～70cm伸びているのが平均的ですが、天候に恵まれたおかげか、今のところほとんどの田んぼでクリアしていました。

しかし稲に大事なのはこれからの時期。穂が出てからが勝負なので、まだまだ気を抜くわけにはいきません。

現在生長中の稲は、10月から皆様にお届けいたします。お楽しみに！

- 1 田んぼごとに稲の長さを計測。
- 2 稲の栄養状態を調べるため、専門の「葉緑素計」という機械で計測。
- 3 雑草を食べるカモたち。成長したカモはあと少しでお役御免。

Dr中村のお米の話



中村 信也 なかむらのぶや

医師、医学博士、東京家政大教授。

著書「日本の救急医療を斬る」の医療改革の視点はマスコミの注目を集める。

現在、奈村信のペンネームで医療推理小説を執筆中。

第32回 お米の値段

お米の値段は摩訶不思議なことがあります。お米の値段は政治がきめるといふ政治米価とも言われています。農民は国の宝ですが、それで農民は幸せだったのでしょか。

お米の値段は、政府買上米価、政府売渡米価、小売米価の三者が存在します。政府買上米価は政府が生産者（農民）から買上げる値段です。これは玄米一俵（60kg）の値段ですが、終戦からみると昭和五九年の1万8千396円が最高値です。

政府売渡米価は政府が卸・小売業者に売る値段です。これは平成二年の1万8千396円が最高値です。昭和三十八年から六三年まで逆ザヤといって、買上価格が売渡価格より高いという時代がありました。小売価格は店頭で並ぶ白米10kgの値段です。これは標準米の値段としていますが、最高値は平成八年の3千878円でした。総務省調査では諸物価は平成十年が最高値ですので、三者米価は物価ピーク前にピークがきていますので、色々と苦労して値段がつけられたのが窺えます。

米価の歴史は三期に分けられます。第一期は終戦直後から平成六年までの食糧管理法による食糧管理制度時代です。この頃は米不足のために米価を安定させようとした時代でした。第二期は昭和四四年から平成六年までの減反政策と自主流通米制度時代です。米余りが著明となり、何とか値崩れから農民を救おうという姿勢の時代です。第三期は新食糧法になり、米の自由化で米余りを乗り切るという時代でした。

三期ともに農民保護のためと考えられてきましたが、専業農家の激減、高米価による米離れなどが招きました。今後、減反政策の中止、市場経済米価決定、国内自給率維持のための保護貿易主義などを前面に打ち出すべきだと私は考えますが、皆さんはいかがでしょうか。